自由民主党神戸市会議員団

坊池 正（ぼういけ ただし）

・西区産小麦を使用したパンが作れない
・里山暮らし促進ついて
・農地転用許可に係る権限移譲等について
・予算の概要
・神戸開港 150 年
・神戸市営交通 100 周年
・地下鉄西神・山手線延伸による回遊性を

自民党
www.jimin-kobe.com
市政報告
発行：自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5846
2017/4
（西区版）

特別委員会 委員長
坊池 正

プロフィール
現　在　神戸市会議員3期（11年）
福祉環境委員会
大都市行財政制度に関する特別委員会 委員長

西区生まれ・育ち！

昭和25年　西区の酪農家に生まれる
昭和38年　神戸市立神出小学校卒業
昭和40年　神戸市立神出中学校卒業
昭和43年　兵庫県立三木高等校卒業
昭和45年　消防吏員 拝命
昭和57年　専任救助隊(隊長も務める)
平成19年　神戸市消防局 退職
平成19年　37年間の消防吏員を経て神戸市会議員当選

ご 挨 拶

時下益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

神戸市会では２月１７日から３月２８日まで予算市会が開催されております。

この度の予算市会では、久元市長４回目の予算市会ということもあり、医療・福祉への充実はもちろんの事、未来を担う若者の定住・移住の促進ため、若い世代が安心して子育てができるように、潜在的待機児童の解消、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援や子育て世帯の経済的負担を軽減するなど力を入れております。

また、昨年９月２０日に菅 官房長官、末松 国土交通副大臣 、藤井 国土交通大臣政務官へ平成１０年の明石海峡大橋開通から未だに永井谷 JCT 以西が未整備区間である神戸西バイパス、神出バイパス、大阪湾岸道路西伸部の早期完成に向けた要望活動を行って参り、その結果 整備促進が今年度予算に計上され、早期実現へと進んで参ります。

そして、国道１７５号線では平野拡幅工事（常本工区）が完了し、平成２９年３月２５日（土）国道１７５線平野拡幅全線完成式典後、道路が供用開始されます。

最後に私事でございますが、少し血糖値が高めの糖尿病予備軍の傾向はございましたが、血糖値が高くなっていること（糖尿病）に気づかず、足の親指が黒くはれ、痛みを感じた時には遅く、動脈硬化による血流障害を起し、足の親指には血液が流れなくなっており、壊疽（えそ）と診断され、昨年１１月に緊急入院、親指切断し１月初旬には合併症もなく退院と皆様にご迷惑をお掛けしました。現在 予算市会にて、市民の安心・安全のために頑張っております。今後とも変わらずのご理解、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

神戸市会議員　坊池　正

平成29年1月1日より農地転用許可に関する事務・権限が国から神戸市に移譲されました。このような事例に早急に対応できるように、神戸市に働きかけて参ります。

神戸市から市街化調整区域での農業用倉庫の設置はかまいませんが、製粉機を設置しますと、工場となり許可は出ませんよ。と言われ困っております。

西区産の小麦でパンを作ろうと製粉機を倉庫に設置しましたが・・・。

地元西区でパン製造販売と両親と農業を営んでおります。

西区産小麦を使用したパンが作れないの巻

はい！坊池です。

里山暮らし促進について

Ⓠ 坊池　正（代表質問）平成 28 年9月26日

開発許可基準の緩和など、更なる規制緩和による移住・定住化の促進に取り組むべきと考えるが。

農村地域の活性化のためには、他の地域からの移住の促進だけでなく、地域出身の若者に定住してもらう事が重要である。今後も１人でも多くの方に神戸での里山暮らしに興味を持ってもらい、定住化に結びつくことを期待している。農村地域の活性化のためには、より一層の開発許可基準の緩和などによる移住・定住化の促進に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

Ⓐ 久元市長

規制緩和を市民に周知させて頂き、その上で更なる規制緩和に取り組んでいきたい。

平成２６年度に市街化調整区域における分家住宅など住居系の開発要件を緩和し、平成２７年２月から運用を開始しました。

しかし、このように規制緩和を行っておりますが、時々北区、西区の生産者の皆様、市民の皆様に聞くと、全くご存じないという方も居られます。規制緩和による乱開発を防ぐ事もあり、市民に周知させていただき、その上で、更なる規制緩和に取り組んでいきたいと考えております。

農地転用許可に係る権限移譲等について

平成２９年１月１日　事務の運用開始しています。

農地転用許可に係る事務・権限は、農地を確保しつつ、地域の実情に応じた主体的な土地利用を行う観点から、地方に移譲等

・２～４ha の農地転用に係る国協議は廃止
・４ha 超の農地転用に係る事務・権限は、国との協議を付した上で、都道府県（下記の指定市町村にあっては、当該指定市町村）に移譲
・農地転用許可制度を適正に運用し、優良農地を確保する目標を立てるなどの要件を満たしている農林水産大臣が指定する市町村に都道府県と同様の権限を移譲

許可を行う者	見直し前		見直し後（平成２８年４月１日に改正農地法の施行）	
	4ha超	国	4ha超	都道府県（国協議）／神戸市 指定市町村（国協議）
	4ha以下 2ha超	都道府県（国協議）	4ha以下	都道府県／神戸市 指定市町村
	2ha以下	都道府県		

神戸開港 150 年を迎えました

神戸港は、「務古水門」「大輪田の泊」と呼ばれ古くから中国大陸や朝鮮半島と交流していました。また、平安時代（794 年から 1192 年）には、経ヶ島（交易の拡大と 風雨による波浪を避ける目的で築造された人工島）の築造（1174 年）し、国際貿易の拠点として発展してきました。

室町、江戸時代には、「兵庫の津」と呼ばれ、鎖国政策下の江戸時代には、国内交通の要衝として、重要な役割を果たしました。そして、慶応 3 年（1868 年）の開港後は、人・物・情報が行き交う拠点として、また、国際貿易港として常に最新の設備を整備し、世界を代表する港に発展しました。

しかし、平成 7 年（1995 年）1 月の阪神・淡路大震災により大きな被害を受けましたが、わずか２年間で施設復旧を完了した。その後、コンテナ取扱個数が低迷するものの、昨年神戸港のコンテナ取扱個数が横浜港を抜き、東京港に次いで国内２位に、神戸港のコンテナ取扱個数は約 254 万 TEU と、前年比３%増と阪神・淡路大震災前の１９９４年の水準まで戻っております。

また、神戸港に入港する外国客船は 2015 年 3 月に神戸ポートターミナル（同市中央区）がリニューアルし、世界最大級の客船が受け入れ可能になり増加。2013 年１９隻、2014 年に３２隻、2015 年は過去最高の４２隻、2016 年３２隻と前年を下回ったが、本年は５０隻の大台を超える見込みです。

写真：国産波止場 阪神・淡路大震災後に中突堤中央ターミナル建設のため埋め立てらました。

神戸港の歴史

150th Anniversary
PORT OF KOBE

812 年　大輪田泊 修築
1868 年　神戸港開港
1907 年　第 1 期修築工事着工
1908 年　ブラジル移民「笠戸丸」が出航
1919 年　第 2 期修築工事着工
1923 年　国の重要港湾となる
1963 年　神戸ポートタワー竣工
1964 年　須磨ベルトコンベヤ運転開始
1970 年　ポートターミナル、神戸大橋竣工
1981 年　ポートアイランド完成を記念して「ポートピア’81」開催
1990 年　神戸新交通六甲ライナー開通（住吉～マリンパーク）
1992 年　神戸ハーバーランドオープン
1994 年　阪神高速道路 5 号湾岸線（六甲アイランドから関空）開通
1995 年　阪神・淡路大震災発生
1998 年　明石海峡大橋開通
2005 年　須磨ベルトコンベヤ運転停止
2006 年　神戸空港開港 神戸新交通ポートライナー延伸
2012 年　神戸港過去最大の客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」が初入港
2017 年　1 月 1 日、神戸開港から 150 年

神戸市営交通 100 周年

大正６年８月１日に神戸市電気局として発足して以来、神戸の街の発展とともに、市営バスや市営地下鉄を新たな交通機関として整備するなど、100 年に渡り地域に密着した「市民の足」として皆様に日々ご利用いただいてきました。

1917 年　神戸市電気局を創設
　　市営として発電、配電及び
　　市街地路面電車事業を開始
1930 年　市営バス事業を開始
1942 年　電気局を交通局と改称
1971 年　市電路線を全線廃止
1977 年　地下鉄名谷～新長田間営業開始
1987 年　地下鉄西神・山手線全線開通
2001 年　地下鉄海岸線営業開始
2017 年　地下鉄西神・山手線開業 40 周年
　　神戸市営交通開業 100 周年

100th 神戸市営交通

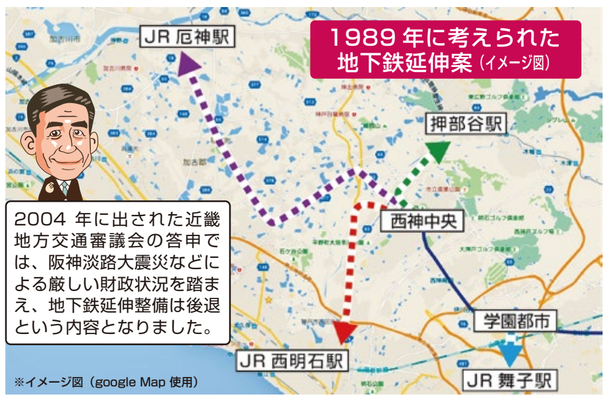
１９８７年3月１８日
地下鉄西神・山手線全線開通

地下鉄西神・山手線延伸による回遊性を

町と人の流れについて論じている時、しきりに出てくるキーワードのひとつに「回遊性」が挙げられます。この言葉は「マグロの生態」だけでなく「人間」にも使われる言葉です。特によく使われるのは、観光地や商業地でお客さんを誘導する算段を立てている時でしょう。「もっと回遊性を高めて人の流れを活発にしよう」と、いうふうに使われます。がんばって一筆書きをつくってみても、その沿道が閑散としていたり、歩くのがイヤになるほど長い距離だったら人の流れが衰えてしまいます。交通で例えるなら「地下鉄西神・山手線」「六甲ライナー」ではないでしょうか。

回遊性は人の流れです。流れる交通が出来ればそれで回遊性は生まれます。

西区では、過去、地下鉄の延伸を行い、公共交通の整備を図るといった構想もありましたが、財政的に見て、現在のところ議論できる状況にはないと考えるが、しかし今後の西区、市街地調整区域の活性化を考えるうえで、市民の足の確保、利便性、回遊性の向上というテーマは非常に重要である。西区について、何らかの形である公共交通の整備の可能性を検討していく必要があると考えております。



１９８９年、運輸政策審議会において、西神中央を起点に着手すべき路線として西明石方面までが、また、検討すべき路線として、押部谷方面、東播磨方面、舞子 - 学園都市が位置付けられておりました。

お問合せご相談は
神戸市会議員 坊池 正（ぼういけ ただし）まで
651-2311 神戸市西区神出町東100
TEL 078-965-0400　FAX 078-965-0400
E-Mail　bouike@nifty.com

若者に選ばれるまち＋誰もが活躍するまちに向けた主な取り組み

1 若者に魅力的なしごとづくり
安定した雇用を創出する

2 若者を惹きつける魅力づくり
新しいひとの流れをつくる

3 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

4 次世代の将来を約束できる環境づくり

5 安心なくらしづくり

6 地域と地域の連携づくり
時代に合った地域をつくり、安全なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

定住・移住の促進 子育て世帯の経済的負担の軽減

神戸市結婚新生活支援事業
- 市内での居住等を条件に新婚世帯へ新居の居住費や引越し費用等を支給

新婚・子育て世帯に対する特別市営住宅の家賃軽減
- 新婚・子育て世帯に対し、家賃の負担軽減をはかり、若年世帯の入居を促進

特定不妊治療費助成の拡充
- 助 成 額 15 万円→20 万円

妊婦健康診査助成の拡充
- 助成上限額 9.8 万円→12 万円

こども医療費助成の拡充
- 0 歳～ 15 歳（中学 3 年生修了まで）所得制限撤廃

児童生徒への通学費援助の拡充
- 市バス普通区の料金の 1/2 を超える額を追加支給（距離要件撤廃）

児童・生徒の学力向上、学びの環境整備

学習支援ツール
- 習熟度に応じた教材プリントを動画解説機能付きで学ぶことができる学習支援ツールを、家庭でも活用できるよう、全中学校で個別配信

地下鉄「U－15定期券」の発売
- 中学生以下の地下鉄通学定期券の通学要件を撤廃
（新たに学習塾などの用途においても使用可能となるよう対象を拡充）

いじめ・不登校対策
- いじめ・不登校に対応を支援する社会福祉士・臨床心理士等の配置を拡充

小中学校への看護師派遣
- 医療的ケアを必要とする児童生徒に対する看護師派遣回数を増加
（週1日 → 週5日）

地域のくらしを支える交通・公共施設環境の形成

広域幹線道路の整備促進
- 神戸西バイパス・大阪湾岸道路西伸部

地域コミュニティバス交通支援事業
- 新たな移動手段の確保に取り組む地域への支援

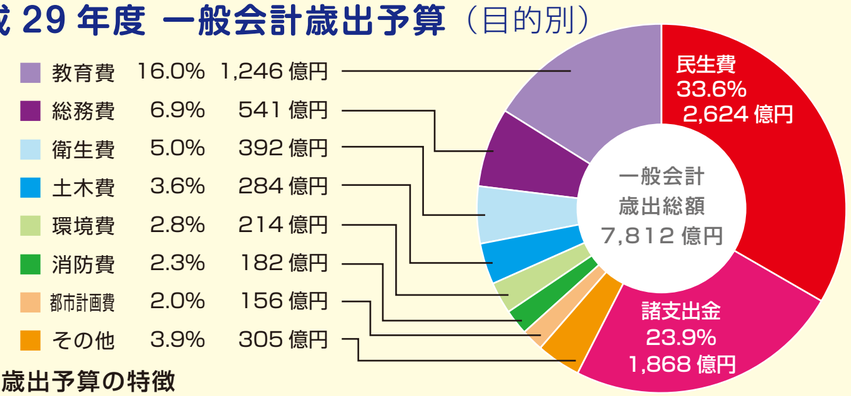
公共施設の整備
- 西神中央地域における新西区庁舎の基本設計
- 西図書館の機能拡充の検討

西神住宅団地の活性化
- かりばプラザのリニューアル

神戸西バイパスの整備促進へ

神戸西バイパス、神出バイパス（175 号線）、大阪湾岸道路西伸部の早期完成の要望に、総理官邸と国土交通省に行って参りました。
菅官房長官、久元市長、藤井国土交通大臣政務官、平野連合自治会 飯田会長、櫨谷連合自治会 増田会長・神出連合自治会 前渕会長、梅田市会議員と

平成 29 年度 一般会計歳出予算（目的別）



目的別歳出予算の特徴
- 生活保護費は減少したものの、障害者自立支援給付費の増、保育定員の拡大や保育士等の処遇改善に伴う教育・保育給付の増などにより、民生費（＋31 億円）が増加
- 学校先行建設にかかる短期貸付を解消した一方で、県費負担教職員制度の権限移譲に伴う人件費の増加などにより、教育費（＋520 億円）が増加
- 定年退職者の減に伴う退職手当の減少や、ホストコンピュータの廃止などにより、総務費（△30 億円）が減少
- 西神戸医療センターの市民病院機構への統合や、先端医療センター病院の中央市民病院への統合、神戸アイセンター病院の開設などにより、衛生費（＋159 億円）が増加
- 第 11 次クリーンセンターの整備完了などにより、環境費（△86 億円）が減少

全ての市民が健康になるまちを目指して

認知症対策・介護予防の充実により、健康寿命を維持・延伸するとともに、医療体制の強化など、健康づくりの環境を整備

救急安心センターの設置（24 時間・365 日運用、29 年秋開設予定）
- 短縮ダイヤル（#7119）による医療機関案内、看護師による医療相談や緊急度判定

西神戸医療センターの市民病院機構への移管

健康診断の受診勧奨
- 特定健診とあわせて65歳の人に対する筋力、咀嚼力等の健診を実施

認知症対策の推進
- 自動車運転免許証の返納推進
- 認知症専門医･医療職･介護職で構成するチームによる発症初期の支援

介護予防の推進
- 日常動作訓練等に加え、体力測定や介護予防講座を実施
- 閉じこもりを防止し、誰もが気軽に立ち寄れる介護予防カフェ等の設置補助

民生委員の活動支援を充実

新たな神戸の農業・里山暮らしの実現

食を軸とした複合的な都市戦略「食都神戸 2020」の推進
- ファーマーズマーケットの開催拡充
- 食の世界機関のネットワークを活かした情報発信
- 神戸産農水産物等の海外展開の促進

神戸・里山暮らしの推進
- 農村定住促進コーディネーターの拡充（相談機能の強化）
- 農村定住起業計画の策定支援
- 空家等を活用した里づくりの拠点施設の改修支援
- 農村地域の魅力発信

農村地域の持続的な発展

地域農業を支える若手農業者の育成
- 新規営農者等を対象とした神戸版営農マニュアルの作成
- 若手農業者グループの経営強化等に向けた活動支援

農村環境の整備
- 農道移管の加速化
- ため池・水路等の水利施設の補修・復旧助成の拡充
- 特定外来生物・有害鳥獣対策の強化（ICT の導入）
- 西農業振興センターと北農業振興センターの新設

空家・空地対策の推進
- 活用可能な空家の流通の支援
- 住民の生活環境に悪影響を及ぼす空家･空地に対する措置と課題解決への支援

防災体制の強化
- 新・危機管理情報システムの構築

気象情報の自動収集、避難情報発令の判断支援、防災情報の機能を整備
- 消防団員の処遇改善

消防団員の出勤手当の増額（団員個人安全装備品「ゴーグル等」の充実にも取組み中）